

こども会育成者ハンドブック



一般財団法人 大阪府こども会育成連合会  
< 2021 年度 リニューアル編集版 >

## 内 容

- ☑ こどもたちに感動体験と夢のある活動を！
- ☑ みなさん一緒にこども会活動を楽しみましょう！
- ☑ こども会活動を安全にするために！

こども会活動いろいろ どんなことするの？



## ➤ I. アウトドア (P.10～)

---

- ・キャンプ、ディキャンプ、バーベキュー、ハイキングなど

## ➤ II. 日常活動 (P.17～)

---

- ・廃品回収、清掃、広報活動（新聞作り）など

## ➤ III. つどい (P.23～)

---

- ・つどいの目的、構成、準備の工夫、歓送迎会など

## ➤ IV. スポーツ (P.29～)

---

- ・いろいろな相撲、ボールを使ったスポーツ
- ・ドッチビー（ソフトディスクを使ったスポーツ）

## ➤ V. クラフト (P.33～)

---

- ・廃品を使ったクラフト万華鏡を作ろう
- ・廃品を使った凧を作ろう
- ・府こ連おすすめ 缶バッジを作ろう



# 子どもたちに感動体験と夢のある活動を

～次代を担うこどもを育てるために～

## ✓ これからの時代は

2020年初頭から新型コロナウイルス感染症による国内感染が拡大し始め、従来のような明るくいきいきとした社会の構築が難しくなり、新しい生活様式の影響により子どもたちを取り巻く環境の悪化が心配されております。また、多様化する日常生活は、大人もこどもも何かと忙しく、他人とのコミュニケーションが稀薄になる傾向にあり、家庭や地域における教育力の低下も気になるところです。

このような状況の下、子どもたちに心身のゆとりを与え、家族との非日常的な生活体験や地域の仲間との遊びを通した様々な活動体験はとても重要なことです。

## ✓ こども会活動の目指すもの

地域の自然、歴史、文化等や様々な人々とのふれあいの中で、特に異年齢の仲間集団との遊びを通して行う活動により、こどもたちは豊かな人格を築き、生きる力を育みます。

また、こどもたちが各種の体験活動を行うことにより、社会性を身につけます。

次代を担うこどもの育成にとって、地域でのこども会活動の必要性が改めて見直されておりその役割は非常に大きいといえます。



## ✓ こどもの手によるこどものための活動を

こども会活動は、いうまでもなくこどものための活動であり、その主体はこどもたちです。こどもたちの興味・関心にもとづいた年間の行事計画を立てること、こども会運営や行事の中で、こどもたちに役割をもたせることなどによって効果が高まり、参加意欲もわいてきます。

また、育成者には、こどもたちが様々な体験活動や夢のある活動に取り組んでいけるようにサポートする役割があるのです。

## ～ 今回の編集にあたり～

元のハンドブックは府ご連から約20年前に発行されていますが、現代でも十分に通用する内容が多いため、編集を手掛けました。

コロナ禍での活動においては3密を避けるなど、基本的な感染防止対策を講じるのはもちろんですが、常に正しく新しい情報を確認して頂き、有意義な活動の一助となれば幸いです。

## みなさん一緒にこども会活動を楽しみましょう

### ◆ はじめてこども会役員になられた方へ

はじめてこども会の役員になられた方は、何をどうすればよいのか、不安で一杯ではないでしょうか？

でも、これまでの活動をそのまま繰り返しては、何の発展もありません。

「それではどうすればいいの？」

難しく考えないで、こどもたちと一緒に楽しく過ごすことから始めましょう。  
こどもの頃にかえって、大いにこども会活動を楽しんでみませんか？



### ➤ 地域でこどもを育てよう

こども会活動の推進にあたっては、家族や地域の大人達がこども会に対する理解を深め、活動に協力することが必要です。

地域の中には、いろんな知識や技術を持った経験豊かなお年寄りやお父さん、お母さん、学校の先生などがおられます。

自治会や学校、PTA及び各種関係団体などと連携をとり、地域をあげてこどもの育成に取り組んでいきましょう。

## 1. こども会活動は、省エネで楽しもう！

今は省エネとリサイクルの時代です。こども会でもできるだけ労力を使わずに（手を抜くわけではありません）無駄を省きましょう。

一生懸命はいいのですが、「忙しくて大変だ」「ああ～疲れた」では、こども会が楽しくなりません。

今までの活動にとらわれずに、できるところからはじめてみましょう。

## 2. こども会行事を家族みんなの行事にしましょう！

こども会の行事は家族みんなで参加しましょう。お母さんとこどもだけではなく、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんも参加できる家族ぐるみのイベントにしましょう。

一石二鳥！こども会と家族の行事が一緒にできます！

**Q.** 幼稚園の弟がいますが、こども会に参加できますか？

**A.** こども会安全会には0歳児から加入できます。

★会員を0歳児や幼稚園児から加入できるこども会も増えていますヨ！

## 3. たくさんの仲間に呼びかけましょう！

役員だけで何でもやるのは大変です。役員以外の方にも呼びかけて、協力していただきましょう。

キャンプなどでは、特にお父さん方にも声をかけてみましょう。案外興味のある方もいて、快く引き受けてもらえるかもしれません。準備や当日だけでも助かります。

こども会だけでなく、地域の方にも呼びかけて、大きな輪を広げましょう。

## 4. 計画は早めに！

ギリギリの計画は、失敗と事故のもとです。不安をなくす意味でも、余裕を持って準備を進めましょう。じっくり考えると細かな点まで見えてきます。

行事の成功は準備にあり！効率のよい打ち合わせを心がけましょう。

**Q.** ハイキングを計画したいけど、準備が大変では？

**A.** ハイキングを成功させるには下見が大切です。

★役員の親睦を兼ねて実施してみたいかがでしょうか？

## 5. こどもたちにも役割分担を！

こども会はこどものための会。こどもたちと共に進めるようにしましょう。

いつも大人でやっていることの中から、こどもたちにもできる役割を見つけましょう。こどもたちに任せると、時間がかかるかもしれませんが、責任感と達成感が生まれて、活動が活きてきます。

★こどもたちの方が知っていることだって、意外と多くありますヨ。

## 6. こども会にはリーダーもいます！

こどもたちと共にかかわり、活動への指導・助言をしてくれるリーダーがいます。

日頃から研修を積んでいるリーダーと接したこどもたちは、楽しく活動できるだけでなく、あこがれを持ち、次のリーダー養成にもつながるはずです。

**Q.** どうすれば、リーダーに依頼できるのですか？

**A.** 市町村の教育委員会に問い合わせてみましょう。

★リーダー組織があれば紹介してくれます。

★近所の中・高校生に声をかけてみるのも養成の第一歩です。





## こども会活動を安全にするために

こども会の活動を安全に楽しくできるようにするのが育成者の役割です。

しかし、こどもの安全は大人が全面的に守るのではなく、大人とこどもが各々の能力に応じて分担し、協力することが大切です。

そのための安全教育が大きなポイントになります。

### ～安全への取り組み～

#### ☑ 行事（プログラム）中心になっていませんか？

毎年やっているから、こどもたちが喜ぶからと、安易に同じ行事やプログラムを繰り返したり、急に新しい行事を取り入れることは危険です。

いつも慎重にこどもたちの体力や能力を考えて、十分な計画、準備、下見などを行って、安全への配慮を忘れないようにしましょう。

#### ☑ いろんなこどもたちが集まってくることを考えて

こども会には、年齢性別をはじめ、体力、能力、性格及び生活習慣に差のあるこどもたちが集まってきます。常にそのことを念頭において、行事やプログラムを計画し実施することが大切です。

#### ☑ 安全意識を高めましょう

こども会活動では、育成者もこどもたちも『安全が第一』という意識を持つ必要があります。そのためには、ルールを守ることや無理・無茶な活動をしないように心がけましょう。最近、ちょっとした油断や不注意によるケガや事故が増えています。

活動をはじめる前に『安全確認』を行いましょう。また、日頃から家庭や地域で様々な生活体験を積極的に行い、安全意識を高めていく努力も必要かと思われます。

#### ☑ 安全知識を身につけて、ケガや事故をなくしましょう

知っていれば防げるケガや事故は多いものです。ケガや事故はどんな時に、どんな場所で、どんな子どもに起こりやすいかなどを知っておくことが事故の予防につながります。

こども会の活動を安全に楽しくできるようにするのが育成者の役割です。

しかし、こどもの安全は大人が全面的に守るのではなく、大人とこどもが各々の能力に応じて分担し、協力することが大切です。そのための安全教育が大きなポイントになります。



## 安全教育

こども会の活動を通して、こどもたちに「自分の安全は自分で守る」意識を持たせ、そのためには何をすべきかを教えることです。

しかし、育成者はけっして、こどもたちに押しついたり、行動を制限したりはせずに、こどもたちの活動を活発にするための援助をします。

また、生活習慣によるトレーニングも大切です。こどもたちの家庭と連携をとり、日常生活の中で数々の体験をすることによって、安全の知識や技術を学び、身につけられるように働きかけましょう。

こども会では、安全教育のプログラムとして、**K Y T（危険予知トレーニング）**を実施しています。

★ K Y Tシートを使ってみんなで考えてみましょう！

- ・ こども会活動のいろんな場面を描いたイラストシートをみんなで見て、その中の危険性を見つけ出して、安全対策を考え合い、実践に結びつけるものです。
- ・ 大人に指示されるのではなく、自分たちで考え出した事故予防の方法を、自主的に実践していくことに意味があります。

～活動をはじめる前に、まず安全会に加入しましょう！～

府こ連安全共済会は、会員相互扶助の精神に基づき、こども会の活動中に発生した負傷、疾病、後遺障害または死亡に対して共済金を給付する制度です。

こども会活動の円滑な推進に資することを目的としています。

詳しくは、各市町こ連事務局または府こ連事務局にお問い合わせください。

## KYTの4つのステップ

### 第1ステップ

- どんな危険がかかっているか ⇒ 危険の発見

### 第2ステップ

- これが危険のポイントだ ⇒ 特に重要なものは？

### 第3ステップ

- 私ならこうする ⇒ 具体的な対策をたてる

### 第4ステップ

- 私たちはこうする ⇒ みんなで実行する目標を決める

※KYTテキストは府こ連事務局で取り扱いしています。



以下、具体的な活動事例などをご紹介します！